

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第 27 回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日 時	平成 26 年 9 月 30 日 (火) 午前 14 時 30 分～午前 16 時 40 分	場 所	木津川市役所第 2 北別館 2 階会議室
出席者 (出席者…■) (欠席者…□)	委 員	<p>【学識経験者】 <input type="checkbox"/>中川 大委員(副会長) <input checked="" type="checkbox"/>大庭 哲治委員(議長)</p> <p>【市民代表】 <input checked="" type="checkbox"/>坂本 佳津子委員 <input checked="" type="checkbox"/>大村 裕信委員 <input checked="" type="checkbox"/>神野 勝三郎委員 <input checked="" type="checkbox"/>鶴岡 由雄委員 <input type="checkbox"/>坂本 利正委員 <input type="checkbox"/>久保 恭子委員 <input checked="" type="checkbox"/>山守 和良委員</p> <p>【事業者】 <input type="checkbox"/>寺嶋 勤委員 <input checked="" type="checkbox"/>森本 耕司委員 ※代理：西川 裕子 <input checked="" type="checkbox"/>川邊 経恭委員 ※代理：橋本 倫尚 <input type="checkbox"/>津田 秀夫委員 <input type="checkbox"/>近藤 智彦委員 <input checked="" type="checkbox"/>筒井 基好委員 ※代理：伊藤 由夫 <input checked="" type="checkbox"/>梅田 幹夫委員 <input type="checkbox"/>加藤 隆委員 <input checked="" type="checkbox"/>大西 秀樹委員</p> <p>【行政機関】 <input checked="" type="checkbox"/>川合 宏和委員 <input checked="" type="checkbox"/>石橋 博孝委員 <input checked="" type="checkbox"/>湯瀬 敏之委員 <input checked="" type="checkbox"/>関西 浩二委員 <input checked="" type="checkbox"/>巽 英人委員 ※代理：川田 貢 <input type="checkbox"/>河井 規子委員(会長) <input type="checkbox"/>田中 達男委員 <input checked="" type="checkbox"/>若狭 朝明委員 ※代理：屋敷 佳彦 <input checked="" type="checkbox"/>北川 健司委員 ※代理：小篠 祥幸</p>	
事務局	尾崎市長公室長、尾崎課長、茅早係長、富井主任、藤本主事		
傍聴者			
議 題	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①直近の木津川市コミュニティバス利用者数について【資料 1】</p> <p>②公共交通に関するアンケート調査結果の概要について【資料 2】</p> <p>③近鉄のダイヤ変更に伴う木津川市コミュニティバスのダイヤについて【資料 3】</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①木津川市の公共交通に係る総合的な計画（骨子案）について【資料 4】</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回協議会の開催日程について</p> <p>②その他</p> <p>3. 閉会</p>		
会議結果要旨	<p>1. 開会</p> <p>事務局より開会を宣言した。</p> <p>2. 議事</p> <p>議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として坂本委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①直近の木津川市コミュニティバス利用者数について</p>		

	<p>「資料1 木津川市コミュニティバス利用者数の推移」に基づき、平成26年8月までのコミュニティバス利用者数の推移について報告し、確認した。</p> <p>②公共交通に関するアンケート調査結果の概要について</p> <p>「資料2-1 市民及び利用者アンケート調査の結果概要について」及び「資料2-2 施設アンケート調査の結果概要について」に基づき、木津川市の公共交通に係る総合的な計画の策定に向けて実施したアンケート調査の結果について報告し、確認した。</p> <p>③近鉄のダイヤ変更に伴う木津川市コミュニティバスのダイヤについて</p> <p>「資料3 近鉄のダイヤ変更に伴う木津川市コミュニティバスのダイヤについて」に基づき、近畿日本鉄道のダイヤ改正に伴う木津川市コミュニティバスのダイヤ改正について報告した。</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①木津川市の公共交通に係る総合的な計画（骨子案）について</p> <p>「資料4 木津川市の公共交通に係る総合的な計画（骨子案）について」を用いて、木津川市の公共交通に係る総合的な計画の骨子案について提案し承認頂いた。</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回法定協議会の日程について</p> <p>後日文書で通知することとした。</p> <p>②その他</p> <p>「木津川市インターネット放送局」として、1日フリー乗車券の使い方を解説した動画の掲載について報告した。</p> <p>4. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1. 開会</p> <p>会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①直近の木津川市コミュニティバス利用者数について</p> <p>【配布資料】資料1 木津川市コミュニティバス利用者数の推移</p> <p>【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）</p> <p>○ 予約型乗合タクシーの予約締切時間は、どのように変更されたのか。</p> <p>▶ 平成26年5月より、従前の「1時間前」から、「30分前でも予約できる場合がある」と変更した。</p> <p>○ 今後策定する計画のために、利用状況を分析していかなければならない。きのつバスが大幅に減少している事実をどのように捉えるか。資料4も合わせて協議しないと、検討は難しいのではないか。この状況を時勢と捉え認めていくのか、利用者数の回復に向けて施策を取り組んでいくのか、検討が必要だと思う。</p>

- ▶ きのつバスの減少傾向が続くなかで、後ほどアンケート結果でも報告させて頂くが、「用事がなくなった」や「運賃改定で利用しづらくなった」等の意見を頂いている。次期計画の策定に向けて、利用者数をどのように増加させていくか、委員の皆さまと一緒に考えていきたい。
- 利用者を最初に報告されたことには意義がある。どのような要因で利用者が増加・減少しているのかを考えなくてはならない。その中には、長期的には、人口のトレンドや生活スタイルの変化もあると思う。短期的には季節・天候のみならず、政策も影響してくる。施策実施時には、数値の変化を見ながら影響・反応を確認しておくことが重要である。
- デマンド化して以降、利用者数が急激に減少している。利用者に高齢者層が多く、電話をかけての予約が煩わしく、利用がしにくいのではないかと。また、アンケート結果に「タクシーの対応が悪い」との意見もあったが、高齢者にはタクシー車両が利用しにくいのではないかと。
- ▶ 利用者からの「電話予約が煩わしい」という意見は受止めさせて頂いている。また、非利用者からみれば、「空気を運ぶバスは無駄である」という意見もある。市としては、1人でも利用があればなんとか維持してきてきたいとの思いで進めている。
- 電話予約が障壁となっていることは間違いない。しかし、より利用して頂くために、利用方法やサービス提供の方法など、まだまだ改善はできると思う。一緒に議論していきたい。

②公共交通に関するアンケート調査結果の概要について

【配布資料】資料2-1 市民及び利用者アンケート調査の結果概要について

資料2-2 施設アンケート調査の結果概要について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答)

- 資料2-2の6ページ、調査結果で性別不明との回答が上がっているが、調査員がチェックを怠ったのか。男女がわからない等ということがあるわけがない。
- ▶ 性別不明については、調査時に、あえて「答えたくない」との場合である。容姿等から判別できる部分もあるが、あくまでお答え頂いた内容についての整理ということで、まとめている。
- 性別が後々の分析に影響を及ぼすようであれば、例えば性別によって考え方や利用行動が異なる場合には、少人数とはいえ不明回答が重要になってくるが、幸いにして今回はそのような分析はされていない。しかし、しっかりとサンプルを取ることは重要なので、今後徹底して頂きたい。
- 資料2-1の34ページからの代表的な意見について、時間の関係上説明を割愛されたが、ここが一番の生の意見・市民のニーズなので、大事にしてほしい。例えば、木津・山城・加茂の合併の行政上のメリットがみられないという意見であるが、木津地域の人はメリットがあると思う。しかし、加茂地域などは取り残された疎外感を感じている。

利用者数を見ても、前年比をクリアしているのは13路線中3路線のみである。現実として受止める必要がある。加茂地域のデマンド路線はデフレスパイラルの

状況にあるので、根本的に考え直さないといけない。木津駅を中心にして、西側はある程度充実しているが、東側はかなり不便な部分もある。その不便な部分の味方になるのが行政であり、そのための施策を打つべきである。

○ 意見を踏まえ、政策的に可能なものについては対応して頂きたい。様々な自由意見を頂いているが、何か傾向は見られるか。

▶ 資料2-1の33ページにあるとおり、「コミュニティバスは必要である」という意見が最も多く、必要性についての認識を頂いている状況である。また「運行本数を増やす」といった意見もある。

非利用者も含めた全体としては未回答が多く、未だ公共交通に対する関心が低い状態であると理解している。

○ まずは利用してもらい・認知度を高めていくというところが非常に重要である。

③近鉄のダイヤ変更に伴う木津川市コミュニティバスのダイヤについて

【配布資料】資料3 近鉄のダイヤ変更に伴う木津川市コミュニティバスのダイヤについて

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答)

質疑なし。

(2) 協議事項

①木津川市の公共交通に係る総合的な計画（骨子案）について

【配布資料】資料4 木津川市の公共交通に係る総合的な計画（骨子案）について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答)

○ 一番大切な「なぜ増加した・減少したのか」を検証しないと次の計画は成り立たないのではないか。検証に基づいて計画がある。

○ 今回策定する計画は、年度別の考え方に基づくものなのか。色々な報告があったが、計画内容についてどのように整理をしていかれるのか。また、計画はいつ発行されるのか。

▶ 計画期間は平成27年から5年間の計画としている。

自由意見については一番素直な意見を書いて頂いていると理解している。前回調査時と比べ、運賃について評価が低下し、それ以外の内容については、上昇傾向にある。この結果に甘んじること無く、PDCAサイクルに基づいて計画を策定していきたい。

また、バスが必要と考える方を最優先に考え、持続可能な運行を第一に検討していきたい。

○ 本日は骨子案であるので、計画の項目についての承認である。具体的な内容については、次回あるいはそれ以降の協議としたい。

○ 基本方針は踏襲すると書かれているが、特に加茂地域は観光客も多く、市民以外に観光客の視点はあってもいいのではないかと思う。

▶ 持続可能な公共交通につながる方針であれば、来訪者の視点も取り入れた計画としていくべきと考えている。

○ 目標が「公共交通（コミュニティバス）の利用者数」のみとなっているが、これについては変更されないのか。

- ▶ 目標値については、前回の連携計画の踏襲と、市総合計画の値に従って記載させて頂いている。現状、数値的にはコミュニティバスとなっているが、全ての交通機関が連携して満足度を高められるよう検討する。
- 確認であるが、1ページ及び2ページに記載の目標値は、コミュニティバスのみか。
 - ▶ 市として掲げられる数値としてはコミュニティバスのみである。
- 運賃改定による利用者数減少等を受けて、目標を下げると認識してよいか。
 - ▶ 利用減少を受け、平成26年3月に改定した総合計画では数値を改めている。総合計画の値に合わせて修正させて頂いた。
- 市の総合計画で、連携計画の目標値を変更したということか。
 - ▶ 連携計画では平成26年度までで40万人という目標数値があるが、総合計画の改定時期が平成25年度であったので、利用者減少の現状を踏まえ、先んじてこちらを変更させて頂いた。
- 総合計画では数値を既に変更されている。それを受け数値を修正したということか。
- 目標値とは基準値で、大幅に達成できれば全く問題はない。しかし、数値の下方修正に対するフォローは必要であり、協議会の中で周知が必要である。
 - ▶ 連携計画は平成21年時点のものである。当時の実績数値を受け向こう5年間については40万人を目指していくとして進めてきた。残念ながら平成25年度では27万4千人まで落ち込んでいるという現状がある。目標を下方修正したということではなく、現状の推移の中で、より達成度の高い数値の設定を、と思い30万人と記載させて頂いている。
現状の実績数値が30万人を下回っているという状況の中で記載をさせて頂いたものである。皆さまのご意見を頂きながら、上昇傾向に転じていきたいと考えている。
- 資料4の4ページに、課題として「市民が主役となる地域公共交通づくり」とある。アンケート結果から「廃止すべき」等の市民からの非常に厳しい意見に注目する必要があると考えている。税金を投じた運行に対して反対の立場からの意見は強いものがあると感じている。
木津川市の場合は、市民がどのように公共交通を形作っていきたいのかが見えてこないので困惑している。皆さま方には、行政に対して、「何をしてくれるのか」を要求する前に、「自分たちには何ができるのか」をもう少し考えて頂く必要もあるかと思われる。そのような点も知恵を出し合い、皆で考えていける場として頂きたい。
- ▶ コミュニティバス運行負担金の予算計上時に、議員の皆さまから両極端な意見を頂く。担当部署として、コミュニティバスを守りたいという意識で進めている。加茂のコミュニティバスについても、サービスレベルを落としてでも路線を守りたいということでご理解を頂いたところである。皆さまにご意見を頂きたいのは、市民の足としてどのような形で守れるかという点である。最低限の費用で最大限の効果を発揮するためには、どのような方法を取っていけばよいかをご議論いただきたい。

	<p>山城線については、老人クラブ連合会のご協力を得て、皆さまの声を伺っていくなかで利用者数が伸びてきたという経緯もある。そのような手法も取り入れながら進めていきたい。</p> <p>○ 資料4の1ページの下部に、地域公共交通網形成計画についての記載があるが、コミュニティバスのみをメインに目標指標化して、計画の要件を満たせるものなのか。</p> <p>コミュニティバス以外の鉄道やバスについても謳われるのであれば、各事業者の声を聞いて頂きたい。</p> <p>▶ 市の実施事業として提出できる数値はコミュニティバスのみであるが、「鉄道・バス・タクシーなどが連携して」と記載させて頂いており、事業者等の皆さまには改めて協力をお願いさせて頂きたいと考えている。</p> <p>○ コミュニティバスの議論に終始する事例も多いが、鉄道・バス・タクシーも含んでネットワーク形成を行う必要がある。既存事業者ときちんと協議して進めて頂きたい。</p> <p>資料4の3ページにもある「市民意識の変革」が肝心である。市民の皆さまにいかに理解頂いて意識づけを行っていくかが重要である。現状は、まだまだ「現状バスしか移動手段がない人たちのためのバス」でしかない。バスを必要としない人々も含めて守っていくという意識付けが必要である。</p> <p>「乗らないとバスはなくなる」という意識喚起がまだまだ足りていないと思う。市民の役割として、利用して頂くことを強く主張して頂くことが重要である。次の計画に盛り込んで頂きたい。</p> <p>○ アンケート調査結果はホームページに掲載されるのか。</p> <p>▶ 会議資料としてホームページに掲載する。また公共交通だよりに掲載する予定である。</p> <p>○ 市民の意識喚起についても、情報提供は非常に大事なことだと思っている。</p> <p>○ 頂いたご意見を反映して、計画の作成を進めてほしい。また、アンケート結果や利用者数の推移など、様々なデータが今回提供された。委員の方には今一度目を通して頂き、お気づきの点など事務局までお伝え頂ければと思う。</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回法定協議会の日程について 後日文書で通知する。</p> <p>②その他 会議結果要旨のとおり。</p> <p>4. 閉会 会議結果要旨のとおり。</p> <p style="text-align: right;">以上。</p>
<p>その他 特記事項</p>	<p>なし</p>